

報道関係者各位

2026年1月14日
MPower Partners Fund
ボストンコンサルティンググループ

国内スタートアップへの調査結果から、 女性起業家の活躍を阻む“5つの壁”を特定～MPower、BCG 共同調査

女性起業家を取り巻く課題と解決策を提示

日本初 ESG 重視型グローバルベンチャーキャピタルの MPower Partners Fund(以下、MPower)と経営コンサルティングファームのボストンコンサルティンググループ(以下、BCG)は、本日「[スタートアップ調査：女性起業家を取り巻く課題と解決策](#)」(以下、本レポート)を発表しました。

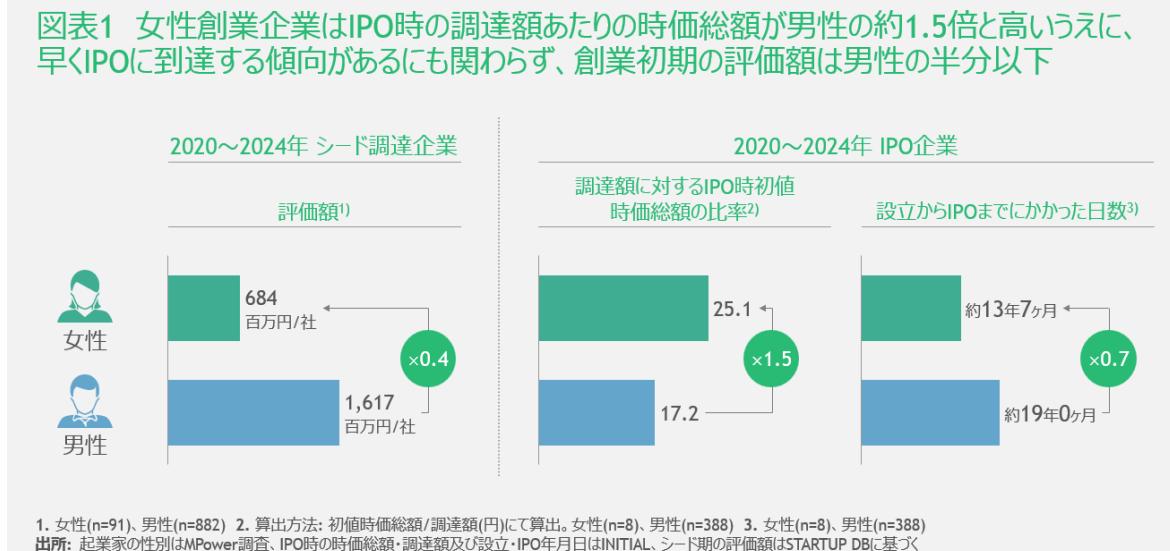
昨今、スタートアップは日本経済の成長を牽引する存在として重要性を増す一方、国内スタートアップにおける女性起業家はごく少数にとどまっており、創業から成長段階に至るまで複合的な課題に直面しています。本レポートは国内スタートアップ 46 社へのアンケート調査、および 9 社へのインタビューに基づき、その実態を可視化するとともに、解決の方向性と具体策を提示しています。

女性起業家の比率は約 1 割、調達額も上位 100 社の 1% に満たない

調査から、女性起業家は人数も資金調達額も依然として少なく、その潜在価値が十分に活かされていない実態が見えてきました。

- 国内のスタートアップ起業家における女性の比率は約 1 割
- 調査に回答した女性起業家のうち、創業初期に性別に起因するネガティブな影響を自覚する人の割合は 38%、男性起業家ではほとんどいない
- 2024 年の資金調達額上位 100 社において、女性起業家による調達額は 1% 未満
- 2020～2024 年、創業初期の企業評価額は男性起業家の半分に満たない一方、「調達額に対する IPO(新規株式公開)時の時価総額」は男性起業家の約 1.5 倍(図表 1)

図表1 女性創業企業はIPO時の調達額あたりの時価総額が男性の約1.5倍と高いえに、早くIPOに到達する傾向があるにも関わらず、創業初期の評価額は男性の半分以下



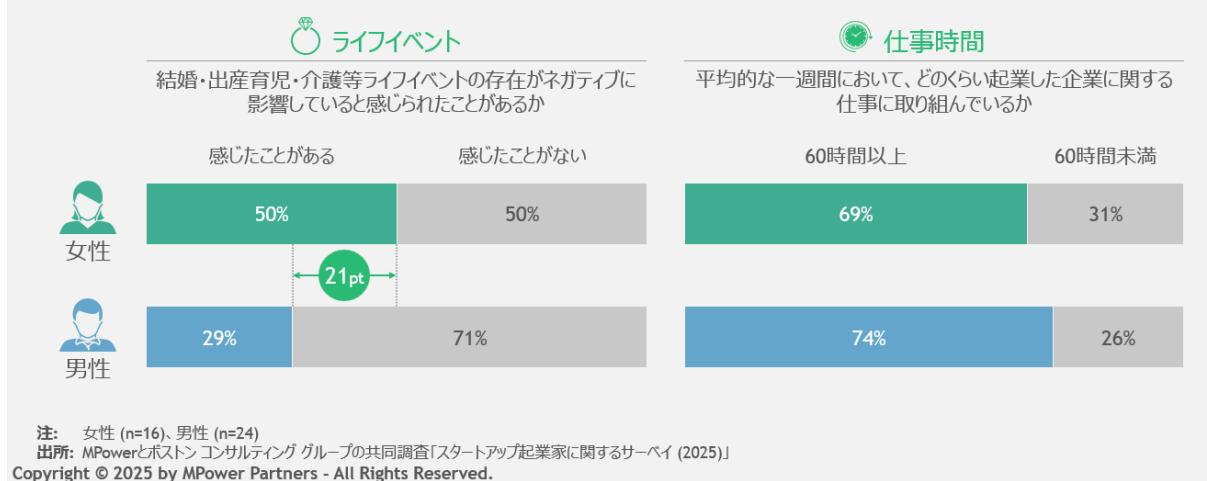
国内のスタートアップ・エコシステムを発展させるためには、女性起業家の創業意欲を高めるとともに、適切な企業価値評価に基づく資金提供の仕組みを整備することが不可欠であると考えられます。

女性起業家の活躍を阻む“5つの壁”

さらに、女性起業家が活躍するうえでは、以下5つの領域における課題が絡み合うことで大きな“壁”が形成されていることが明らかになりました。

- 人材・スキル:** 経営知識や経験の不足、適切なメンター（相談相手）との出会いの少なさ、人材採用・定着における課題
- プロダクト:** 先端技術活用の知見や人的リソースの不足、事業構想の市場規模や拡張性における課題
 - 調査に回答した女性起業家のうち、半数程度が「技術開発」に難しさを感じている
 - 調査に回答した女性起業家の81%が、プロダクトの「市場規模、拡張性」について投資家から指摘を受けている
- 資金調達:** 女性起業家の事業領域が投資家の選好と必ずしも一致せず、大口の資金調達が困難
 - 起業家の性別構成で見ると、女性のみで創業したスタートアップの割合が最も高い領域は「公共&教育」（16%）だが、ベンチャーキャピタル（VC）の投資先割合としては最下位
 - VCの投資先割合が最も高い領域は「製造&エネルギー」だが、女性のみで創業したスタートアップの割合は4%
- 制度・インフラ:** 男性中心の起業家コミュニティにおけるネットワーク形成の難しさ、育児・介護による時間的制約への不安
 - 調査に回答した女性起業家の19%が、事業構想や資金調達について気軽に相談できる相手がないと感じており、男性起業家の割合を上回る
 - 調査に回答した女性起業家の半数程度が結婚、出産育児、介護などのライフイベントが仕事にネガティブに影響すると感じている（図表2）
- 文化・社会:** 女性起業家に対する無意識的なバイアス、ロールモデルの多様性の乏しさ

図表2 ライフイベントが仕事にネガティブに影響していると感じる割合は女性の方が21ポイント高く、事業に必要な時間を確保する負荷が大きい



本レポートでは、これら 5 つの壁に対する解決の方向性と、具体策としてステークホルダー（投資家、政府・自治体）に推奨されるアクション、起業家に求められるマインドセットを提示しています。

レポートの共著者である MPower のゼネラル・パートナー、キャシー松井は、次のようにコメントしています。「女性起業家の力を最大化に引き出すには、まず短期的に、事業を伸ばすための資金や人材などのリソースにアクセスできる機会を増やし、起業への不安を減らすことが大切です。また、性別に関係なく活動しやすい環境を整える必要があります。中長期的には、女性の起業が自然に応援される文化や雰囲気を育てていくことが求められます。相談できる場を増やしたり、性別だけで決めつけるような安易な“ラベリング”を見直したりするなど、関係者が一貫した取り組みを進めることが重要です。さらに、起業家自身もそれらの制度や支援を積極的に活用する姿勢を持つことで、より大きな効果が生まれると期待しています」

課題の詳細な分析や、具体的な解決策・アクションについては、調査レポートをご参照ください。

■ 調査レポート

「スタートアップ調査：女性起業家を取り巻く課題と解決策」

日本語版は[こちら](#)

英語版は[こちら](#)

■ レポートに関するお問い合わせ

MPower Partners Fund

キャシー 松井 ゼネラル・パートナー



日本初の ESG 統合型グローバル・ベンチャーキャピタルファンドである MPower Partners の創業ゼネラル・パートナー。ゴールドマン・サックス証券株式会社にて副会長およびチーフ日本株ストラテジストを歴任。「ウーマノミクス」に関する先駆的なリサーチを通じて、日本政府によるジェンダー・ダイバーシティ推進の動きを後押ししてきたほか、コーポレートガバナンスおよびダイバーシティのベストプラクティスについて多くの企業に助言を行っている。ハーバード大学卒業。ジョンズ・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院(SAIS) 国際関係学修士。

関 美和



ゼネラル・パートナー

モルガン・スタンレーにて投資銀行業務に従事したあと、クレイ・フィンレイにおいて日本株グロースエクイティファンドのポートフォリオマネジャー兼東京支店長を務める。ベビーシッター会社を起業し売却したほか、これまでにビジネスおよび企業関連の書籍を約 60 冊翻訳。慶應義塾大学卒業。ハーバード大学経営学修士(MBA)

村上 由美子



ゼネラル・パートナー

OECD 東京センター所長を務めた後、MPower Partners に参画。それ以前は約 20 年にわたりグローバル金融業界でキャリアを積み、主にゴールドマン・サックスにおいてニューヨーク、ロンドン、東京でマネージング・ディレクターを務めた。コーポレートガバナンス、税制ガイドライン、ダイバーシティ、教育、貿易、イノベーションなど幅広い経済政策分野の第一人者であり、「新しい資本主義実現会議」をはじめ複数の政府有識者会議のメンバーを務める。上智大学卒業。スタンフォード大学修士。ハーバード大学経営学修士(MBA)。

ボストンコンサルティング グループ(BCG)

折茂 美保 マネージング・ディレクター & パートナー



BCG 社会貢献グループの日本リーダー。気候変動・サステナビリティグループ、パブリックセクターグループのコアメンバー。

東京大学経済学部卒業。同大学院学際情報学府修士。スタンフォード大学経営学修士(MBA)。

栗原 勝芳 マネージング・ディレクター & パートナー



BCG 保険グループの日本リーダー。金融グループ、およびコーポレート・ファイナンス&ストラテジーグループのコアメンバー。

東京大学経済学部卒業。株式会社大和証券グループ本社、グローバルコンサルティングファームを経て現在に至る。

■ MPower Partners Fundについて

MPower Partners Fund は、日本初の ESG 重視型グローバル VC ファンドです。スタートアップが ESG (Environment, Social, Governance) の視点を戦略に取り入れることで持続的な成長と社会・環境への好影響がもたらされるという信念のもと、テクノロジーで社会的課題の解決に挑む大胆でグローバルな起業家を支援します。2025 年 3 月には女性起業家と女性活躍に資するプロダクトやサービスにフォーカスした WPower Fund を新たに立ち上げました。創業パートナーをはじめとするチームには豊富な経験と専門知識を有するメンバーが揃っており、日本のベンチャー生態系がよりグローバルかつ多様になり、多くのイノベーションを生み出せるよう働きかけていきます。

<https://www.mpower-partners.com>

■ ボストンコンサルティング グループ(BCG)について

BCG は、ビジネスや社会のリーダーとともに戦略課題の解決や成長機会の実現に取り組んでいます。BCG は 1963 年に戦略コンサルティングのパイオニアとして創設されました。今日私たちは、クライアントとの緊密な協働を通じてすべてのステークホルダーに利益をもたらすことをめざす変革アプローチにより、組織力の向上、持続的な競争優位性構築、社会への貢献を後押ししています。

BCG のグローバルで多様性に富むチームは、産業や経営トピックに関する深い専門知識と、現状を問い合わせし企業変革を促進するためのさまざまな洞察を基にクライアントを支援しています。最先端のマネジメントコンサルティング、テクノロジーとデザイン、デジタルベンチャーなどの機能によりソリューションを提供します。経営トップから現場に至るまで、BCG ならではの協働を通じ、組織に大きなインパクトを生み出すとともにより良き社会をつくるお手伝いをしています。

日本では、1966 年に世界第 2 の拠点として東京に、2003 年に名古屋、2020 年に大阪、京都、2022 年には福岡にオフィスを設立しました。

<https://www.bcg.com/ja-jp/>

■ 本件に関するお問い合わせ

ボストンコンサルティング グループ マーケティング 中崎・中林・天艸

Tel: 03-6387-7000 / Fax: 03-6387-0333 / Mail: press.relations@bcg.com

MPower Partners Fund

Mail: info@mpower-partners.com